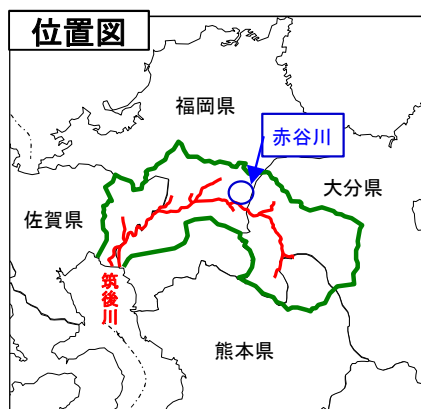


砂防災害関連緊急事業で実施した遊砂地が土砂を捕捉し被害を防止(朝倉市杷木松末)

災害発生日 : 令和2年7月7日
降雨状況 : 連続雨量 614mm(7月5日18時~8日13時) 時間最大雨量 57mm(7月7日4時~5時) ※松末小学校雨量観測所

あさくらし はき ますえ おとし

発生箇所 : 福岡県朝倉市杷木松末(乙石川遊砂地)
現地状況 : 平成29年7月の九州北部豪雨の際に発生した土砂・洪水氾濫により、多くの人家等に被害が発生。
次期出水時の被害を防止するための遊砂地を、直轄砂防災害関連緊急事業により平成30年4月に完成。
平成30年7月、令和元年8月に引き続き、令和2年7月豪雨で、土砂・洪水氾濫被害を防止。

遊砂地とは

大量の土砂が一気に街の中まで流れ込まないように、それを途中で受け止めるための砂防施設です。
砂防堰堤のように上流・山間部には設けないため、たくさんの土砂をためることができます。

